事例No.	1940
公表年度	R4
団体の属性	都道府県
団体名	富山県

事例区分	公営企業

タグ	・駐車場整備事業 ・公共施設活用 ・（行政改革）業務の効率化

事例種類	事業廃止

事例内容・タイトル

立体駐車場の廃止

出典

公営企業の持続可能な経営の確保に向けた先進・優良事例集

【富山県】
立体式駐車場の廃止

事業廃止　**駐車場整備事業**

富山県企業局経営管理課

● 取組の概要

老朽化が進んでいた富山駐車場を廃止した。

◆総事業費　76,830千円

◆背景

- 市街地における交通施策の一環として、昭和51年に建設し、営業を開始したが、施設の老朽化が進行しており、今後の事業のあり方を検討していく必要があった。
- こうした課題や周辺の民間駐車場の整備の状況、県行政改革推進会議からの提言（「老朽化が進んでおり、売却を含めた検討が望まれる施設」との指摘）などを踏まえ、駐車場の廃止を検討することとした。

◆具体的内容

- 地元住民に対して、解体工事の内容等について計2回の事前説明会を実施した。
- 駐車場管理条例の改正によって富山駐車場を廃止した。
- 跡地については、隣接する一般会計所有地と合わせて企業局が一体的に管理し、有料駐車場の用地として、事業者に貸し付けることとした。

◆効果

- 維持管理費が削減された（約10,595千円/年）。
- 民間事業者から跡地の賃借料の支払いを受けることで、収入を確保した（平成27～令和3年度の合計で、企業会計・一般会計合わせて約328,972千円）。
- 民営駐車場としての運営の継続により、引続き駐車場需要に対応することができた。

● 取組のポイント

- 跡地の管理費用を削減するため、一般会計所管の土地と一体的に管理をすることとした（企業会計・一般会計合わせて約774千円/年の削減）。
- 様々な方法での活用を迅速に行うことができるように、普通財産として管理することとした。
- 跡地を平面式駐車場用地として貸し付けることとしたため、その整備工事を簡素化できた。

● 公営企業情報

- 行政区域内人口　1,022,755人（令和4年1月1日時点）
- 行政区域内面積　4,248km²（令和4年1月1日時点）
- 収容能力　170台（平成26年度決算）

配置図



● 取組のスケジュール

- 平成26年7月に廃止方針を決定。
- 平成27年2月に県行革取組項目として公表。
- 平成27年9月に条例を改正、住民説明会を実施。
- 平成27年10月に富山駐車場を廃止、11月に解体工事着工、平成28年3月に平面駐車場として竣工。

● 今後の展望

- 跡地は、駅周辺の利便性の高い地域に立地することから、まちづくりに資する有効活用策を検討していく。